

第1学年 学級活動学習指導案

1組 計31名

指導者 井上 雅代

1 議題 「1年1組 なかよし集会をしよう」

学級活動（1） ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

2 議題について

（1）これまでに取り扱ってきた議題や題材について

これまでに、本学級では、下記の議題や題材について学級活動で取り組んできた。

ア 学級や学校における生活づくりへの参画	イ 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全	ウ 一人一人のキャリア形成と自己実現
・学級目標を決めよう ・雨の日の遊びを考えよう ・1年1組の歌をつくろう ・1年1組のキャラクターを決めよう ・運動会の応援を盛り上げよう ・昼休みにみんなで遊ぼう ・1年1組なかよし集会をしよう	・交通安全について考えよう ・楽しい給食やマナーについて考えよう ・教室やトイレの清潔な使い方を考えよう ・本を読む前や読む時のきまりを考えよう ・清潔な体について考えよう ・自分や友だちのことをよく知ろう ・雨の日の過ごし方を考えよう ・楽しい夏休みにしよう	・どんな1年生になりたいか考えよう ・係と当番を決めよう ・2学期のめあてを考えよう

3 児童の実態

本学級の児童は、1学期当初に比べると、自分らしさを出し、自分の考えをみんなの前で発表する姿が増えてきている。しかし、相手の話に最後まで耳を傾けて聞いたり、自分の思いがあっても自信のなさから、なかなか伝えられなかったりする児童もいる。また、相手のことを思って手を差し伸べ、友達に優しい言葉をかける場面もたくさん見られる。一方で、同じ保育園や幼稚園同士で遊んだり、その場にいてもなかなか声をかけられなかったりする児童もいる。昼休みは外に出て、グループで遊ぶ児童も多いが、自分のことしか考えられず、つい自己中心的な言動をとってしまったり喧嘩になる場面もしばしば見られる。

話し合い活動に関わる本学級の児童の実態をつかむために、質問紙法を行い、分析した。

（令和4年7月15日実施 調査人数30名）

① ペアやグループ学習で自分の考えを友達に伝えることができますか。	よくできる 18	できる 5	あまりできない 6	できない 1
② 話し合い活動は好きですか。	とてもそう思う 16	そう思う 9	あまりそう 思わない3	思わない 2
③ みんなで話し合うことは大切だと感じますか。	とてもそう思う 17	そう思う 8	あまりそう 思わない3	思わない 2
④ 話し合い活動は生活の中で役に立つと思いますか。	すごく役に立つ 16	役に立つ 6	あまり役に 立たない4	役に立た ない4
⑤ 話し合い活動で自分の意見を発表できますか。	よくできる 13	できる 9	あまりできない 6	できない 2
⑥ 話し合い活動の時に友達の意見をしっかり聞くことができますか。	よくできる 17	できる 10	あまりできない 2	できない 1
⑦ 友達のよい意見を聞いて、なるほどと納得したことがありますか。	よくある 14	ある 8	あまりない 4	ない 4
⑧ 話し合い活動をして学級がより良くなったと感じることがありますか。	よくある 12	ある 6	あまりない 9	ない 3

【考察】

（1）質問①から、各教科の授業や活動で取り組んでいるペアやグループ学習では、7割の児童が伝えることができる」と答えており、自分の考えを友達に話すことに意欲的であることが分かる。そのため、質問②にある

ように、話し合い活動も好きと答えている児童が同じくらいいる。自分の考えを友達に伝えることに喜びを感じたり、自信が付いたりして、話し合い活動に意欲的に取り組むことができていくことが分かる。

- (2) 質問③④から、7～8割の児童が、学級全員で話し合うことが大切だと感じ、生活の中で役立つことを実感していることが分かる。しかし、まだまだ十分であるとは言えない。自分たちの学級をよりよくしていくためには、いろいろな意見の違いを認め合い、折り合いを付けながら合意形成を図っていくことが大切であることを、今後も、話し合い活動を通して感じ取らせたい。また、決めたことを全員で協力して実践し、振り返りを充実させることで、自分や他者のよさに気づき、これからの学級生活に意欲的に取り組めるようにしていきたい。
- (3) 質問⑤から、8割の児童が自分の考えを発表し、友達に伝えることができると答えている。しかし、まだまだ自分の考えを発表することに自信がなかったり、苦手意識をもっていたりする児童もいることが分かる。事前に議題に対する自分の考えをしっかりとめたり、教師が称賛したりすることで、自信をもって自分の考えを発表できるようにしていきたい。
- (4) 質問⑥から、9割の児童が、友達の意見をしっかりと聞くことができると答えている。しかし、質問⑦から分かるように、友達の意見を聞いて納得した経験がまだ少ないことが分かる。友達のいろいろな意見の違いを認め合ったり、自分の考えに付け加えたりすることが、自分の考えを深めることにつながることを、更に認識させたい。
- (5) 質問⑧から、多くの児童が、話し合い活動をして学級がより良くなったと感じているが、感じる数があまり少ない児童が4割いる。みんなで実践しようと思ったことが守れているときもあるが、自分の思いを優先させてしまったり、ルールが守れずに楽しくなかったと感じたりすることが、まだまだ多いことが分かる。

4 本時の議題について

1学期初めに、こんなクラスにしたいという思いを話し合い、学級目標を「やさしいところ ちゃれんじ するところ かつこいいたいどの1ねん1くみ」と決めた。1年生になって半年が過ぎ、この目標達成を目指して、何事にも前向きに一生懸命取り組んでいる。

本議題「1年1組 なかよし集会をしよう」は、昼休みにみんなで遊ぶ日の計画を立て、その活動の実践後に、「もっとたくさん学級のみんなと遊びたい」という児童の思いから提案されたものである。それぞれが小集団で遊ぶ姿が多かったので、昼休みにみんなで遊ぶ計画を立て実践したところ、多くの友達と関わり活動することに楽しさを感じ、友達と関わる集団活動に前向きな姿が多く見られるようになった。その反面、自分の思うようにいかずに口調が強くなってしまったり、ルールが守れなかったりすることもあった。学級目標にもある「やさしいところ」をもって、自分だけが楽しむのではなく、自分も友達も、学級全員が楽しみ、仲間意識を高めるためには、どんなことをすればいいかを話し合えるようにしたい。また、自分の考えを相手に伝えようと「ちゃれんじ」することや、相手を思いながら学級全員が楽しめる意見を発表する「かつこいいたいど」を、本議題を通して意識させ、学級目標に近づいていることを味わわせたい。よって、本議題を設定した。

本時では全員が話し合い活動に参加することができるように、役割分担したグループ活動で進めていくことにする。みんながなかよく、楽しむことができる外遊びの計画を立てるために、「何をするか」を柱にして、話し合うようにする。また、自分の考えを表現しやすくするために、少人数グループにし、安心して話し合いに参加できるようにする。さらに、自分の意見を伝えるだけでなく、互いの意見をしっかりと聞いて認め合い、自他の理解につなげることができるようにしたい。本議題を実践する際は、活動への意欲や所属感を高め、話し合うことの大切さや楽しさを味わわせることができるようにしたい。そして、みんなで心をつなげて取り組む楽しさを体験することで、集団で物事に取り組む楽しさを感じ取ることができるようにしたい。

5 本校の研究テーマとの関連

(1) 研究テーマ「自己を見つめ、他者のよさに気づき、互いに認め励まし高め合う子どもの育成」

(2) 授業の視点

視点イ②交流活動の充実

話し合い活動における小集団による話し合いを工夫することで、自分や他者のよさに気づき、他者の考えのよさや違いを受け入れ、他者に関わるようにする。

視点ア③振り返り

「わかった」「できた」の視点に着目しながら振り返らせることで、自分の頑張りと他者のよさに気づき、自分の学びを深められるようにする。

6 活動及び指導と評価の計画

活動	日時 活動形態	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿 (評価方法)
事前	計画委員会の活動 ・議題の収集 10月5日 ・議題の決定 10月6日 ・計画委員会 10月13日 10月17日	・話し合いたいことを考え、議題ポストに投函する。 ・議題を選定し、確認する。 ・話し合いの柱やめあてなど詳しい計画を立て、全員に知らせる。 ・担任と学級会の打ち合わせをする。	・学級がよくなるためや楽しくなるために話し合いたいことはないか、児童に呼びかけ、助言する。 ・内容を考慮し、取り上げる視点を明確にしながら、議題を選定する。 ・どのような柱やめあてを立てたら話し合いがスムーズに行えるか考えさせる。	【学びに向かう力、人間性等】 ・担任の助言を受け、進んで話し合い活動の計画を立てることができる。 (提案カード・観察) 【知識及び技能】 ・司会団としての自分の役割と、話し合い活動の進め方を理解することができる。(観察)
	学級全員の活動 ・議題の決定 10月6日 10月13日 10月17日	・議題を知り、確認する。 ・学級会ノートに自分の考えを記入する。	・計画委員会の提案をもとに、全員で議題や実践日や時間、場所を確認する。 ・学級会ノートに自分の考えを書かせ、意見を集約しておく。また、励ましの言葉等を記入し、話し合いへの意欲をもたせる。	【知識及び技能】 ・本時の議題、提案理由、話し合いの柱から、何について話し合うのかを理解することができる。(観察) 【思考力、判断力、表現力等】 ・提案理由や話し合いの柱に沿って、自分なりの考えをもつことができる。(学級会ノート)
本時	司会団 ・話し合い活動 10月19日(水) 5校時	・柱に沿って、話し合いを進める。	・児童が主体的に話し合い活動を進行できるよう、支援する。	【学びに向かう力、人間性等】 ・よりよい話し合いにするために、担任と一緒に協力して進行することができる。(観察)
	学級全員	・提案された議題について、全員で話し合い、実践への計画を立てる。	・提案理由、話し合いのめあて、決まっていること確認しながら、児童が主体的に話し合い活動に取り組めるよう支援する。	【思考力、判断力、表現力等】 ・順序を考えて自分の意見を言ったり、賛成や同意の意見を言ったりすることができる。(観察)
事後	実行・振り返り ・係の分担をする。 10月20日 進行係、道具係 ・「なかよし集会」の実践 10月21日(金) 2校時 ・振り返り 10月21日(金)	・決まったことを学級活動コーナーに掲示する。 ・係を決め、準備する。 ・「なかよし集会」を実践する。 ・なかよし集会を実践し、集会後、感想等を記入する。	・決まったことを書き、掲示できるように掲示用紙を準備しておく。 ・協力したり、工夫したりして活動している様子を認め、称賛する。 ・よかったところや頑張ったことを称賛したり、友達のよさにも目を向けさせたりすることで、学級への所属感を高める。	【学びに向かう力、人間性等】 ・話し合い活動で決まったことを進んで実践しようとするができる。(観察) 【思考力、判断力、表現力等】 ・全員が楽しめることを考えながら、友達と協力し、責任をもって準備したり参加したりしている。 (振り返りカード・観察)

7 本時

(1) 本時のねらい

ア 1年1組のみんなが、笑顔で楽しく遊ぶことができるようにするなかよし集会に関心をもち、学級の友達と協力しながら、課題を解決しようとする。 【学びに向かう力、人間性等】

イ 「みんなで楽しめる遊びか」「みんながにこにこ笑顔になれる遊びか」という提案理由に沿って、どのような遊びを行うか考え、話し合おうとする。 【思考力・判断力・表現力】

ウ 発表の仕方や聞き方など、話し合いのきまりや基本的な進め方を理解することができる。

【知識及び技能】

(2) 実際

議題	1年1組 なかよし集会をしよう		
提案理由	昼休みにみんなで遊んだことがとても楽しかったので、もっとみんなで遊んで楽しみたい。みんなで遊ぶことで、もっと仲良くなって、笑顔がいっぱいの1年1組にしたいから。		
係	司会・副司会	ノート記録	黒板記録
氏名	柴田 恵・曲田友結奈	門田 優生	中野 和胡・井上先生
過程	活動の順序	時間	教師の支援 ①交流活動 ②振り返り ※評価
問題の意識化	1 はじめの言葉	7	○ 掲示物で会の流れを示すことで、司会グループ以外の児童にも会の見通しをもつことができるようにする。 ○ 1年1組の歌を歌うことで、学級に一体感を持ち、意欲的に話し合いに臨むことができるようにする。 ○ みんなで遊んだ昼休み遊びの写真を提示することで、活動への意欲を高めることができるようにする。 ② 友達の意見を最後まで聞き、よいところを見つけながら話し合いを進めるように助言する。
	2 歌「1年1組の歌」		
	3 係の紹介		
	4 議題の確認		
	5 提案理由の説明		
	6 話し合いのめあての確認		
	みんなが、にこにこえがおになれるあそびをはなしあおう。		
問題の追究	7 先生の話	28	① 一部の児童だけの発表にならないよう、事前に自分の考えをまとめる時間を設定し、少人数グループの話し合いにすることで、児童が安心して発表できるようにする。 ① 学級会ノートに勇気づけコメントを書いておくことで、自分の考えに自信をもって発表できるようにする。 ※ 自分の意見を発表し、グループの友達の意見をしっかり聞いているか。 ① 話し方や聞き方の約束を掲示しておいたり、グループでの話し合いの進め方をマニュアル化しておいたりすることで、主体的に話し合うことができるようにする。 ① グループでの役割分担をすることで、全員が話し合い活動に参加できるようにする。 ※ 自分の役割に責任をもって、意欲的に話し合いに参加することができたか。 ① 事前に児童が考えた意見を集約し、提示することで、話し合い活動の時間を確保し、意見の比較やまとめをやすくする。 ① 遊び方で工夫できることはないかを教師が問うことで、更に児童の意見を引き出せるようにする。
	8 話し合い (柱1) なかよし集会で何をするか。		
	何をして遊ぶか		
	・ ドッジボール ・ しっぽとり ・ おにごっこ		
	賛成意見や心配な意見		
	・ ドッジボールは、みんなで楽しめそうだ。 ・ しっぽとりやおにごっこも、みんなでしたら楽しいと思う。 ・ 走るのが苦手な人もいるから、おにごっこは心配だな。 ・ ボールを投げる人が決まっている。投げられないとおもしろくないから心配だな。		
	こうしたらよさそう		
	・ 1人1回はボールが投げられるようにゆずったらいいい。 ・ しっぽの長さをかえたらよさそう。		
	9 決まったことの発表		
	10 話し合いの振り返り		
実践への意欲化	11 先生の話	10	※ 自分や友達の考えのよさを見付けながら、話し合いを振り返ることができたか。 ② 話し合いの仕方ではよかったところを称賛することで、実践への意欲を高めることができるようにする。
	12 終わりの言葉		

(3) 板書計画

振り返り

まだい

一ねん一くみ

なかよししゃつかいをしよう。

ていあんりゅう

もともとみんなであそびたい。

一ねん一くみのみんなが、なかまになって、えがおになれる。

みんなが、にににえがおになれる。

あそびをはなしあおう。

はしー

なにを するか。

だいたい

かいが、きゅうかい

まだい

一ねん一くみ

なかよししゃつかいをしよう。

ていあんりゅう

もともとみんなであそびたい。

一ねん一くみのみんなが、なかまになって、えがおになれる。

みんなが、にににえがおになれる。

あそびをはなしあおう。

はしー

なにを するか。

